

Nittobo

第157期

日東紡 株主通信

2017年4月1日 ~ 2018年3月31日

- 株主の皆様へ
- 事業紹介
- トピックス
- 財務ハイライト(連結)
- 財務諸表(連結)

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社グループ第157期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の業績をご報告申し上げます。

中期経営計画の初年度である第157期は、将来への成長に向けた基盤強化への投資を進めつつ、経常利益は3年連続で100億円台を確保し、当期純利益は過去最高益を達成いたしました。



取締役 代表執行役社長 辻 裕 一

● 2018年3月期の業績

2018年3月期におけるわが国経済は、設備投資を中心とした内需や堅調な外需に支えられ、緩やかな回復基調が続きました。また、世界経済も、個人消費の底堅い回復が続く米国や内外需要が堅調な中国など、拡大基調が継続しました。一方で金融市場発の下振れリスク、原油価格の上昇、地政学的リスクなど、先行き不透明な状況も見られました。

この結果、連結売上高は845億26百万円（前年同期比1.4%の増収）、連結営業利益は108億37百万円（前年同期比2.8%の減益）、連結経常利益は110億71百万円（前年同期比2.8%の減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は102億53百万円（前年同期比37.1%の増益）となりました。

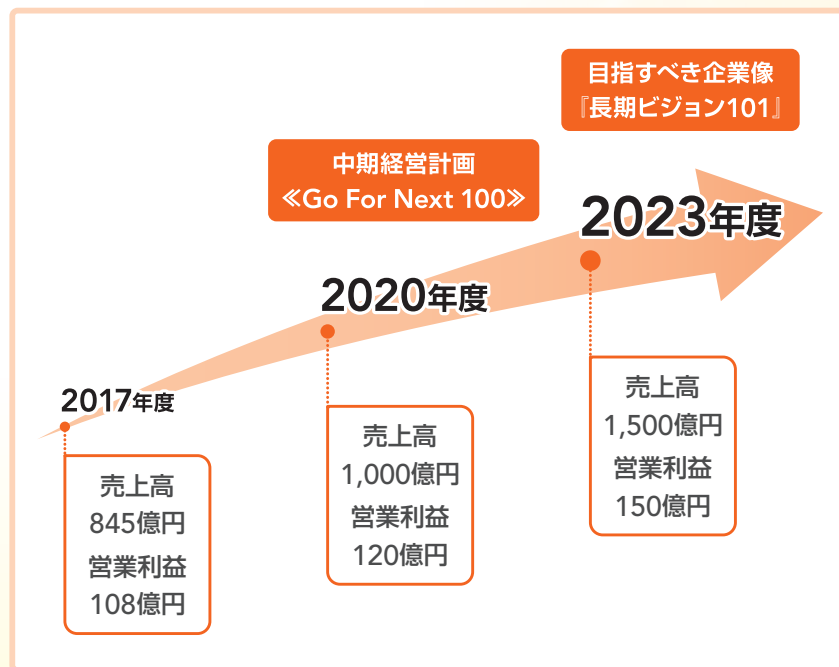
● 中期経営計画の進捗状況

当連結会計年度は、中期経営計画《Go For Next 100》スタートの年であり、事業基盤強化への取り組みを積極的に行い、設備投資、研究開発および人財へ重点的に経営資源を投じるとともに、高付加価値品の拡販に取り組みました。

設備投資については、中期経営計画の4年間で合計550億円を計画しており、そのうち約230億円の投資を決定いたしました。主な内容は、グラスファイバー事業における5G高速大容量通信の実現に伴う基地局向け需要やデータセンターのサーバー向け需要の増加に対応する国内外での高付加価値品の製造能力の増強、メディカル事業における日本・アメリカの開発・生産

施設の建設等となります。また、大規模修繕工事に加え、老朽設備の修繕も積極的に行い、次なる成長への基盤整備に取り組んでいます。

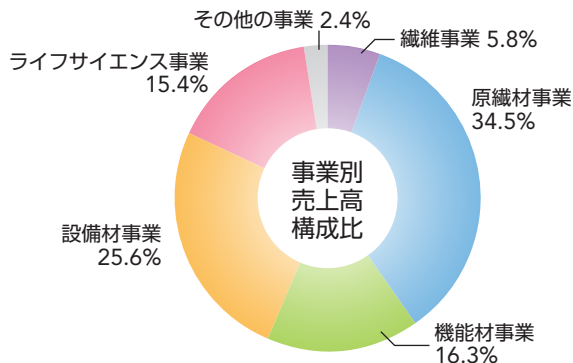
研究開発および人財の強化については、グラスファイバー事業では電子材料製品の更なる強化、産業資材の用途拡大、ライフサイエンス事業では開発力の強化と販路の海外展開を見据えた体制の構築などを推進いたしました。



当期 事業セグメント別業績

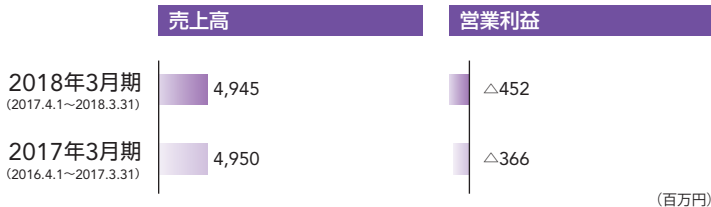
事業セグメント別の売上構成比は右グラフの通りです。

また、当期の事業セグメント別の売上高、営業利益は以下の通りです。



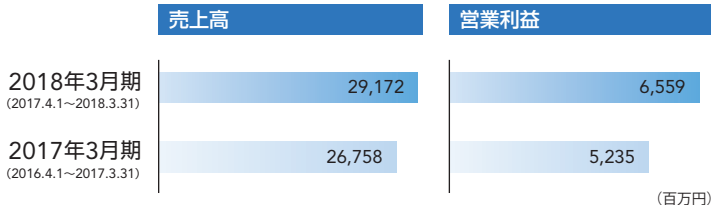
繊維事業

繊維事業では、主力の芯地販売は中国国内での拡販に努め、また、スポーツ向け等を含めた高付加価値品の開発・販売等に努めました。



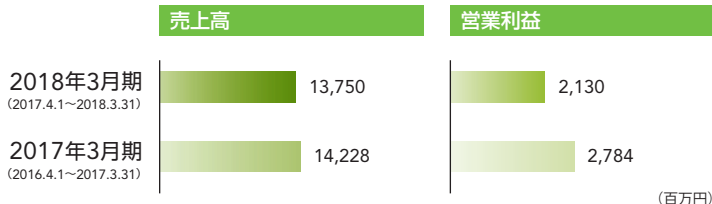
原織材事業

原織材事業では、ガラスヤーンなどの高付加価値品の販売が好調に推移する中、生産の能力増強や効率化を推進しました。



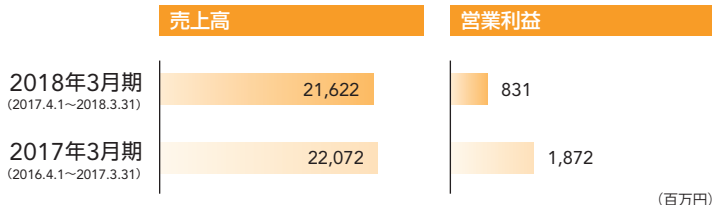
機能材事業

機能材事業では、電子材料用途の需要は堅調な状態が持続しましたが、台風被害による海外子会社の稼働停止影響に加え、一部高付加価値品の生産が一時的に低下しました。



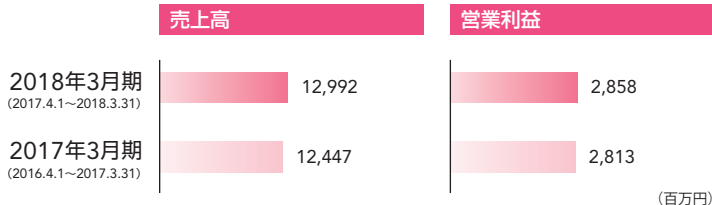
設備材事業

設備材事業では、住宅向け断熱材の需要は安定的に推移しましたが、第1四半期に実施した大型の設備改修や、物流費・資材費などコストアップの影響により収益が悪化しました。



ライフサイエンス事業

ライフサイエンス事業では、免疫系体外診断薬を中心に国内、海外向けの販売に注力するとともに原価低減に努め、また飲料分野では新規顧客獲得に注力しました。



※従来「機能材事業」に含まれていた(株)双洋の一部事業を「原織材事業」および「設備材事業」に、「設備材事業」に含まれていた(株)日東紡テクノを「その他」に変更しています。また、従来「環境・ヘルス事業」としていた事業セグメントの名称を「ライフサイエンス事業」に変更しています。なお、2017年3月期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。

繊維事業

事業内容

ストレッチ素材の二層構造糸C・S・Y®や「日東紡の新しいふきん®」など、衣料用途から生活に密着した製品まで幅広く提供しています。

神津小学校生徒向けに工場見学を実施

2017年12月18日、伊丹生産センターにおいて、神津小学校から小学3年生8名の工場見学を受け入れました。神津小学校の工場見学は、従前はマヨネーズ工場1カ所でしたが、今回より地域への理解を深めるために、地元の複数工場で実施することになり、伊丹生産センターにも依頼が来たものです。

芯地の接着試験を一人ずつ体験してもらったり、芯地の使われ方や製造工程を加藤センター長がわかりやすく説明し、子どもたちは興味津々でした。



ニッポー新潟(株) ジャパン・ヤーン・フェアに出展

2018年2月21日～23日、愛知県一宮市にある一宮市総合体育館にて、第15回ジャパン・ヤーン・フェアが開催されました。

ニッポー新潟(株)は新製品「pa・pia」とともに、従来の製品群を「環境・エコ」というテーマでまとめて展示、繊維事業部門の消臭機能をドットコーティングする新しい技術「DAN FRESH®」のスペースも設けました。また、メディカル事業部門のSSG（スーパーゾルゲル）消臭薬剤を使用したレーヨンの消臭糸（ADSEP）も展示し、繊維事業部門内にとどまらず、ALL日東紡として技術力をアピールしました。

同フェアは日本で唯一の糸の見本市ということもあり、来場者は、説明に熱心に聞き入っていました。

昨年よりブースの広さを2倍にしたにもかかわらず行列ができる程盛況で、来場者の皆様に改めてハイブリットヤーンの日東紡をアピールする機会となりました。



グラスファイバー事業部門

原織材事業

事業内容

ヤーン、ロービング、チョップドストランド等の特徴あるグラスファイバー原織製品を、強化プラスチック用途や電子材料用途など幅広く提供しています。

機能材事業

事業内容

グラスファイバーのヤーンを加工したガラスクロス等の高性能な機能製品を、電子材料用途や産業資材用途等に提供しています。

設備材事業

事業内容

土木・建築用途や産業用途の幅広いグラスファイバー製品や、住宅用断熱材用途等の高性能なグラスウールを提供しています。

原織材事業 12年ぶりに国際プラスチックフェア・IPF JAPAN 2017に出展

2017年10月24日～28日、千葉県幕張メッセにて開催されたIPFに12年ぶりに出展しました。同展は3年ごとに開催されるプラスチック・ゴムに関する国際的な総合展示会で、ドイツの「K」、米国の「NPE」と並び世界3大展示会と称されています。

当社は電気・電子製品や自動車最終製品の設計者にグラスファイバー製品を直接アピールすべく出展しました。

ブースには大学との共同開発の内容を動画にしたものや製品の特性を詳しく記載したパネルを配置し、同時に行った企業講演ともに大盛況で、日東紡の高い技術を多くの人にアピールする機会となりました。



機能材事業 ヴェールスクリーンをドイツの展示会に出展

2018年2月27日～3月3日、ドイツのシュトゥットガルトで3年に1度行われているシャッター、ドア/ゲート、日よけ関連の国際展示会「R+T 2018」が開催され、当社は国内顧客である(株)SHYのブースにて、ガラス+PVCスクリーンとしては世界最大幅となる4メートル幅のヴェールスクリーン（電動モーターにて稼働）の展示を行いました。

4メートル幅スクリーンの展示を聞きつけた業界関係者や、チューブ・モーターメーカー、デザイナー、バイヤーなど多数の来場がありました。

展示会期間中にスタートアップキットの受注活動も行き、ロシア・台湾の新規顧客からの受注を獲得し、世界中の顧客にアピールすることができました。



ライフサイエンス事業

事業
内容

メディカル事業部門では体外診断薬やポリマー素材製品等の製造・販売を、環境・ヘルス事業部門ではグリーンビジネスや清涼飲料水の製造・販売を行う飲料事業を展開しています。

2017年11月13日～16日、ニッポーメディカル(株)、MEDICA2017に参加

MEDICAは毎年11月にドイツ・デュッセルドルフにて開催される世界最大の医療機器展示会であり、2017年は世界66カ国から約5,100社の出展者が参加し、12万3,000人の来場がありました。展示製品は医療機器、分析装置、リハビリ装置、再生医療用材料、病院のベッドや手術用具など、現代の医療に必要な材料・備品を網羅しており、ドクターヘリや救急車までもが会場外に展示されていました。

世界各国の有力企業が集うMEDICAで、ニッポーメディカル(株)製品のより一層の海外販路拡大を図るべく、7カ国・数十社のブースを訪問し商談を行いました。

世界的にも類を見ない自社独自製品である「N-アッセイ LA IgG4」や「rapid BACpro®II」を来年のMEDICA2019へ出展予定であり、今後の海外展開を加速させていきます。



ISO9001、FSSC22000の更新

ニッポービバレッジ(株)では、2018年1月にISO9001の2015年版に、FSSC22000は2回目の更新を行い認証されました。

ISO9001はマネジメントシステムの国際規格で、今回の更新に伴い新たに項目の明確化が求められましたが、ISO対応を経営から現場まで実務に落とし込んで対応していたため、追加の対応を行うことなく更新できました。また、FSSC22000は食品安全に特化した規格で、HACCPの危害分析と約200項目の管理規定に適合していることが求められます。

同社は、経営から現場まで規格ありきの対応ではなく、日頃より食品安全に関しては、何がリスクでありどのように防いでいくのかという観点から管理、体制の構築を行っています。

お客様へ安心、安全な商品を提供していくために、今後も日々邁進して参ります。



JQA-QM9570



JQA-FC0004

地域貢献

子ども科学教室2017

2017年11月9日、富久山事業センターは、郡山市立行健小学校科学クラブの4～6年生を対象に、毎年恒例となった子ども科学教室を開催しました。

今回は、「メタノールロケットをつくろう!」をテーマに、メタノールを燃料に紙コップロケットを飛ばす実験を行いました。

「メタノールロケットって何?」そんな子どもたちに、まずはデモンストレーション。「3、2、1、発射!」子どもたちのカウントダウン後に、ポンツ!と、紙コップロケットが舞い上がり、どよめきと同時に、子どもたちの目が輝いていきました。

紙コップに思い思いの色や翼をつけて、どうしたら高く飛ぶか、かっこいいかを考えながら、工夫したロケットを飛ばして楽しんでもらうことができました。

中には、風圧で飛んでいるんだ!と知ると息を吹き込んで飛ばし合いをするなど、子どもたちの自由な発想に我々も驚かされました。



福島ユナイテッドFCがNittoboスペシャルマッチ開催!

2018年3月21日、福島県とうほう・みんなのスタジアムにて、日東紡がオフィシャルクラブパートナーを務める福島ユナイテッドFCのNittoboスペシャルマッチ（福島ユナイテッドFC VS 鹿児島ユナイテッドFC）が開催されました。

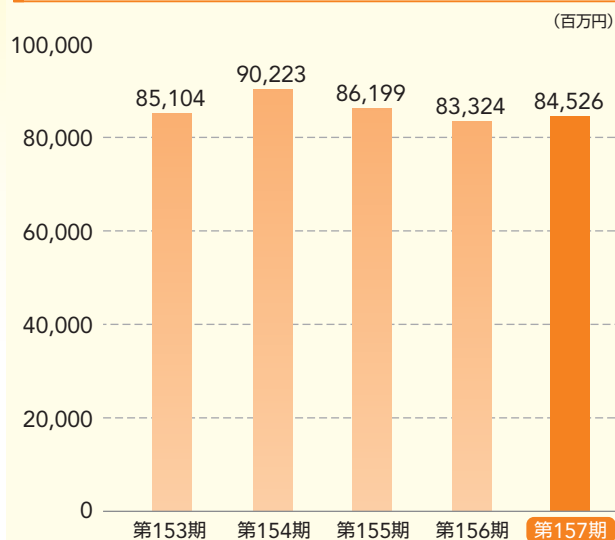
当日は寒いながらも10時から日東紡協賛のサッカー教室が開催され、30組近い親子が選手とともに試合会場でボールと戯れました。梶田福島工場長によるメッセージおよび花束贈呈のあとキックオフ、途中から雪が舞う寒さの中、双方にチャンスも何度かあったものの、0-0のドローで終了しました。

寒さにもかかわらずご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

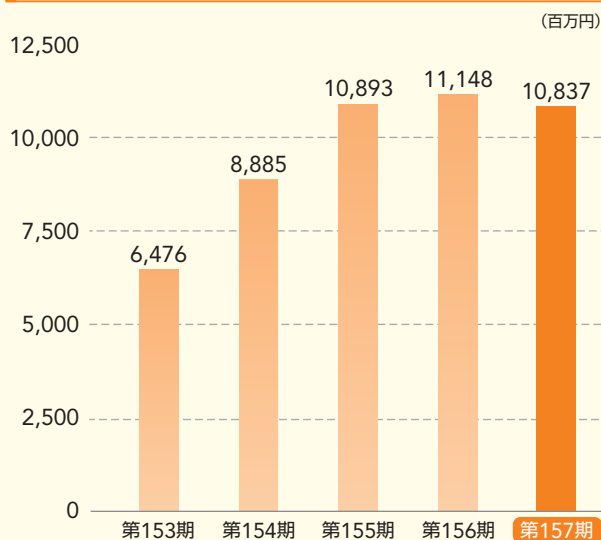


<写真提供 福島ユナイテッドFC>

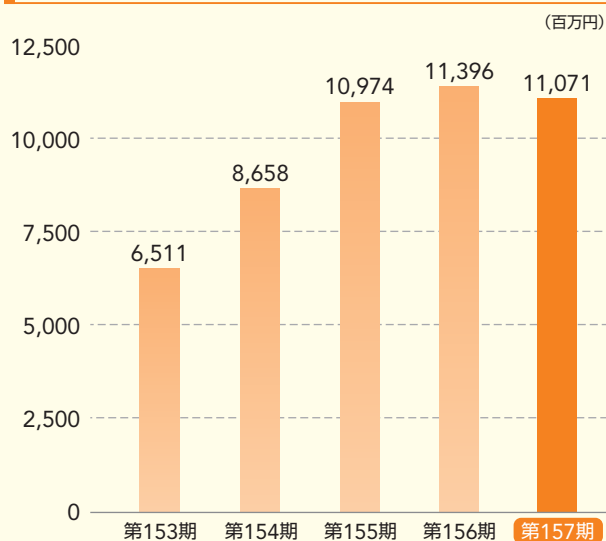
売上高



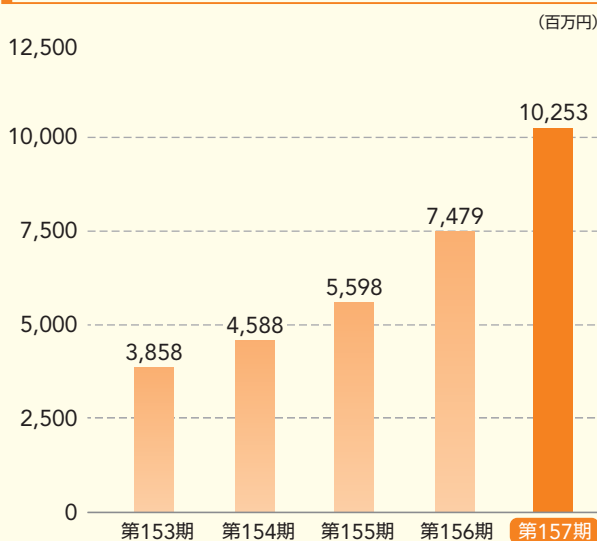
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表（要旨）

(百万円)

科 目	当期末 2018年3月31日	前期末 2017年3月31日
(資産の部)		
流動資産	74,578	67,660
現金及び預金	18,673	18,229
受取手形及び売掛金	25,891	24,077
たな卸資産	25,120	21,365
その他	4,893	3,988
固定資産	72,729	72,521
有形固定資産	42,693	42,053
建物及び構築物	12,332	12,156
機械装置及び運搬具	10,097	8,697
土地	14,748	16,847
その他	5,514	4,351
無形固定資産	1,510	1,687
投資その他の資産	28,524	28,780
投資有価証券	25,698	25,443
その他	2,826	3,336
資産合計	147,307	140,182

(百万円)

科 目	当期末 2018年3月31日	前期末 2017年3月31日
(負債の部)		
流動負債	32,726	28,946
支払手形及び買掛金	9,331	7,806
短期借入金・ 1年内返済予定の長期借入金	10,274	11,574
その他	13,120	9,565
固定負債	27,033	32,954
長期借入金	6,383	11,667
退職給付に係る負債	10,371	11,051
その他	10,278	10,236
負債合計	59,759	61,901
(純資産の部)		
株主資本	81,304	73,292
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	45,105	36,313
自己株式	△2,538	△1,757
その他の包括利益累計額	5,324	4,097
その他有価証券評価差額金	6,068	5,382
為替換算調整勘定	1,197	935
退職給付に係る調整累計額	△1,941	△2,220
非支配株主持分	919	890
純資産合計	87,548	78,281
負債純資産合計	147,307	140,182

連結損益計算書（要旨）

(百万円)

科 目	当期	前期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2016年4月1日～ 2017年3月31日
売上高	84,526	83,324
売上原価	54,312	53,380
売上総利益	30,214	29,943
販売費及び一般管理費	19,376	18,795
営業利益	10,837	11,148
営業外収益	1,031	912
営業外費用	797	665
経常利益	11,071	11,396
特別利益	4,792	12
特別損失	1,379	1,001
税金等調整前当期純利益	14,484	10,406
法人税等	4,195	2,882
当期純利益	10,289	7,524
非支配株主に帰属する当期純利益	35	44
親会社株主に帰属する当期純利益	10,253	7,479

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(百万円)

科 目	当期	前期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2016年4月1日～ 2017年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,791	11,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,524	△2,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,467	△8,826
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	895	△38
現金及び現金同等物の期首残高	17,428	17,466
現金及び現金同等物の期末残高	18,324	17,428

■ 企業詳細

社名	日東紡（登記名：日東紡績株式会社）
本店所在地	福島市郷野目字東1番地
本部所在地	〒102-8489 東京都千代田区麴町二丁目4番地1
創業年月日	明治31年2月 郡山絹糸紡績株式会社（郡山）設立 大正7年4月 福島精練製糸株式会社（福島）設立 大正12年4月 日東紡績株式会社創立
資本金	196億円
従業員	804名（2018年3月31日現在）
ホームページ	http://www.nittobo.co.jp

■ 主な営業所・工場・研究所等

大阪支店	〒541-0043	大阪市中央区高麗橋4-3-10 （日生伏見町ビル新館）
名古屋支店	〒460-0003	名古屋市中区錦2-14-21 （円山ニッセイビル）
福島工場	〒960-8161	福島市郷野目字東1
富久山事業センター	〒963-8061	郡山市富久山町福原字塩島1
新潟事業センター	〒950-0065	新潟市東区東新町6-50
泊事業センター	〒939-0744	富山県下新川郡朝日町平柳500
伊丹生産センター	〒664-8501	伊丹市桑津1-6-1
千葉事業センター	〒263-0004	千葉市稲毛区六方町210
ファイバー研究開発センター	（福島工場内）	
メディカル研究開発センター	（富久山事業センター内）	
スペシャリティケミカルス研究開発センター	（富久山事業センター内）	

■ 連結子会社

（2018年3月31日現在）

（株）日東紡インターライニング	ニッターボー新潟（株）
日東紡（中国）有限公司	富士ファイバーグラス（株）
日東グラスファイバー工業（株）	NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.
日東グラステックス（株）	（株）双洋
日東紡澳門玻纖紡織有限公司	パラマウント硝子工業（株）
（株）日東紡テクノ	ニッターボーメディカル（株）
ニッタービバレッジ（株）	日東紡エコロジー（株）
Nittobo America Inc.	

その他5社

■ 取締役

（2018年6月27日現在）

取 締 役	辻 裕 一
取 締 役	西 坂 豊 志
取 締 役	野 崎 有
社 外 取 締 役	濱 邦 久
社 外 取 締 役	香 田 忠 維
社 外 取 締 役	上 林 博
社 外 取 締 役	尾 内 正 道

■ 執行役

（2018年6月27日現在）

代 表 執 行 役 社 長	辻 裕 一*
専 務 執 行 役	戸 田 数 久
常 務 執 行 役	野 崎 有*
常 務 執 行 役	竹 内 実
常 務 執 行 役	前 山 茂
執 行 役	五十嵐 和 彦
執 行 役	宇津木 和 之
執 行 役	多 田 弘 行
執 行 役	石 原 英 幹
執 行 役	畑 中 英 之

※は取締役兼務

■ 技 監

（2018年6月27日現在）

技 監	今 野 敏 裕
-----	---------

株式の状況

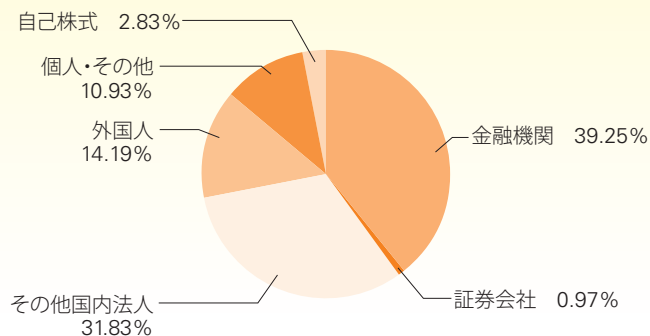
(2018年3月31日現在)

発行済株式総数	39,935,512株
株主数	11,731名

※2017年10月1日をもって、当社の普通株式5株につき1株の割合で併合しました。

所有者別分布状況

(2018年3月31日現在)



大株主

(2018年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,628	6.77
住友不動産株式会社	2,383	6.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,058	5.31
日本生命保険相互会社	1,614	4.16
第一生命保険株式会社	1,316	3.39
ユニゾホールディングス株式会社	1,113	2.87
住友生命保険相互会社	1,082	2.79
株式会社みずほ銀行	1,000	2.58
エア・ウォーター株式会社	997	2.57
セントラル硝子株式会社	948	2.44

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告をして定めます。
公告方法	当社のホームページ (http://www.nittobo.co.jp/) に掲載します。 ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	3110
単元株式数	100株
上場取引所	株式会社東京証券取引所
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)

■ 単元株式数の変更および株式併合に関するご案内

当社は、第156回定時株主総会の決議に基づき、2017年10月1日をもって、単元株式数の変更および株式併合を実施いたしました。

1. 単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。
2. 当社の普通株式5株につき1株の割合で併合いたしました。

なお、株主様におかれましては、単元株式数の変更および株式併合に伴う特段のお手続きの必要はありません。

日東紡績株式会社

〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1 (本部所在地)

